

ふるさと納税でプロジェクトを応援

災害時でも、ホットところが温まるようなクッキーを
長期保存可能な無添加クッキー開発プロジェクト

提案者 クッキークル 目標金額 200万円

使い道 クッキー開発・製造費・デザイン委託費

北本で大人気のクッキー店「クッキークル」が挑戦するのは、災害時にも心の拠り所となるような、無添加クッキーの開発プロジェクト。開発のきっかけは2011年の東日本大震災。「いつも買ってくださるお客様に、クッキーをお届けできない。クルのクッキーを

食べて、少しでもほっとする瞬間があったら」と、歯がゆい思いをしました」（店主 尾上氏）

有事の時こそ、食欲が無くても気軽に頼ることができ、身体に負担の少ない無添加の、心の拠り所となるようなクッキーを。

子供からご年配まで、街のコトを知れて好きになる
北本デジタルアーカイブズプロジェクト

提案者 NPO 法人 埼玉 SOHO 目標金額 315万円

使い道 デジタル化に伴う人件費・備品購入費など

2万年以上前の旧石器時代から人々が住まう北本市には、歴史的価値の高い縄文遺跡、有史以降の文書の資料や神社仏閣に関わる文化財など、歴史文化自然に関するたくさんの資料が存在しています。しかし、現状様々な資料がバラバラになっていたり、保存していても古くなって使えなくなってしまう

ものも存在します。北本デジタルアーカイブズプロジェクトは、北本の歴史文化をデータ化して後世に残すと共に、ネットを通じてアクセスし、歴史を楽しむ為の工夫を取り入れて北本に愛着を持って貰えるまちづくりの新しいカタチを目指します。

生産者の顔が見える市民参加型のお酒をつくりたい！
北本トマトを活かした「北本クラフトスピリッツ」プロジェクト

提案者 (株)ノヴァ 目標金額 200万円

使い道 蒸留機購入費・デザイン委託費

北本市は大正14年からトマト栽培を行っている、トマトの名産地。昭和初期には、北本で作られた国産初の無着色トマトビューレが、東京の精養軒・千屋屋・帝国ホテルでも使用され一世を風靡しました。トマトの古い歴史がある北本市から、もう一度北本トマトを全国へお届けしたい！(株)ノヴァの

ブッシュー木(かずき)さんは、熱い思いを胸に、北本クラフトスピリッツプロジェクトを立ち上げました。「市内の生産者や市民が一生涯命育てたトマトを丸ごと使い、トマトの風味をそのまま届けたい。国内だけでなく世界へ」北本初のプロジェクトがスタートします。

シャッター商店街に「もの作り」を通したコミュニティ拠点を作りたい！
北本団地商店街「まちの工作室」プロジェクト

提案者 暮らしの編集室 目標金額 200万円

使い道 設計費・改装費等

北本団地は、今年で築50年を迎える大型団地。高齢化と人口減少が進み、中心部の団地商店街はシャッター街化が進んでいます。そんな現状を何とかしたいと、北本市のまちづくりチームである「暮らしの編集室」では、今年6月に空き店舗を活用して、団地活性化の活動拠点「シェアキッチン中庭」をオープンしました。「オープンして、

団地で活動していると、色々なモノづくりをしている人が、とても多いことに気がきました。自分で作ったものが、誰かに褒められたらうれしいですね。ミシンの使い方を教え合ったり、子供の工作教室をやったり。みんなで集まって暮らしをつくる「まちの工作室」が、団地商店街に新たなコミュニティを産み出すことを目指します」（暮らしの編集室 江澤氏）

各プロジェクトの詳細はこちらのQRから

市役所窓口での寄附募集期間は令和4年2月15日(火)までです。「ふるさとチョイス」サイトでの募集期間は、サイトからご確認ください。
ガバメントクラウドファンディングでは、寄附金が目標金額に達成しなくても、集まった全額が提案者に届けられるので、寄附金は必ず応援したプロジェクトを実現する原資になります。「応援したい」を直接届けられるクラウドファンディング。市民の皆さんからの寄附も税額控除の対象となります。ぜひ、ご支援をお願いいたします。手続きなど、ご不明な点がある場合は市長公室シティプロモーション・広報担当(☎511-9119)へご連絡ください。



北本市ふるさと納税型
クラウドファンディング
ウェブサイト

北本の暮らしを楽しむ/

シティプロモーション
ウェブサイト『&green』

友達募集中/

シティプロモーション
公式LINE